www.r-toolbox.jp

# オーダーレンジフード

目次


| | |
|---|---|
| 安全上のご注意 | 1 |
| 各部の名称 ／ 付属品一覧 | 2 |
| 取り付け時のご注意 | 3 |
| 施工手順 | 4 |
| 試運転 ／ お客様への説明 | 8 |
| 製品寸法図 | 9 |


## 安全のために必ずお守りください

取り付け前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に取り付け、あなたや他の人々への被害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の 2 つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

## 本文中に使われている図記号の意味は次の通りです。

**警告**　警告を無視した取り扱いをすると、死亡や重症などの重大な結果に結びつく可能性があります。

**注意**　注意を無視した取り扱いをすると、物的損害を被ったり、傷害を負う可能性があります。

禁止事項　指示に従う

接触禁止　アースを取付ける

分解・修理・改造禁止

保存版

取付・設置説明書

toolbox


株式会社 TOOLBOX

URL　www.r-toolbox.jp
E-mail　contact@r-toolbox.jp



2025.05

# 安全上のご注意

## ⚠ 警告

**修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造しないでください。**
発火したり異常動作で、けがをする恐れがあります。

**アースを確実に取り付けてください。**
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

**AC100V 以外では使用しないでください。**

**配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が行ってください。**

**メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取り付けてください。**
漏電した場合、発火したり感電する恐れがあります。

**本体とダクトは可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆ってください。**
火災などの原因となります。

## ⚠ 注意

**運転中は危険ですので、ファンの中に指や物を入れないでください。**
**また、ファンや部品の取り付けは確実に行ってください。**
落下によりけがをする恐れがあります。

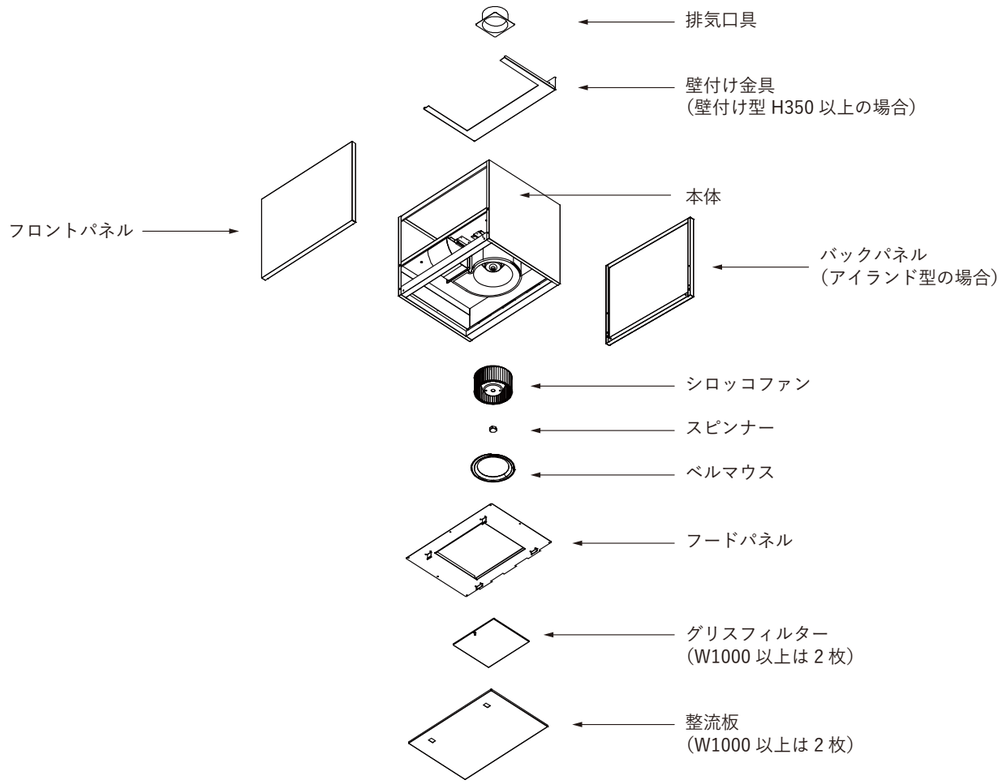
**必ず手袋を着用し、取り付け作業を行ってください。**

**電源は専用ブレーカーを設けてください。**
火災・故障の原因となります。

**レンジフードに荷重がかからないようにしてください。**
落下する恐れがあります。



# 各部の名称




# 付属品一覧

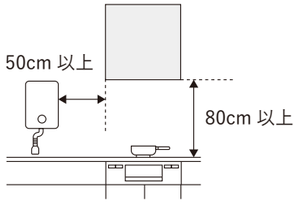
| | | | |
|---|---|---|---|
| | 排気口具 | 1 個 | 本体とダクトの接続に使います。 |
| | タップタイトねじ | 4 本 | 排気口の取り付けに使用します。 |
| | 木ねじ | 2 本 | 壁取付の場合に、<br>本体の仮取付けに使用します。 |
| | 座付木ねじ | 6 本 | 壁取付の場合に、<br>本体の取り付けに使用します。 |

# 取り付け時のご注意

**※ 排気工事をされる場合は、建築基準法および消防法などの関連法規にあわせて施工してください。**

1. レンジフードファンの取り付けは、漏電に対する十分な配慮を行ってください。

2. 温度は高くなりすぎると製品の故障の原因になるため、下図の寸法が守られているか確認してください。またガス湯沸器の真上に取り付けないでください。




3. レンジフードの幅より狭い調理器具をご使用ください。

4. 排気ダクトはφ150mm をご使用ください。
排気口までの距離が長かったり、ダクトが変形している場合、性能が低下する恐れがありますのでご注意ください。

5. 40°C以上の高温になる場所や、薬品を使う場所には取り付けないでください。故障や感電の原因になります。

6. 排気ダクト（パイプ）と排気口の間は、ソフトテープで隙間を塞いだ後、アルミテープでテーピング処理を行ってください。

7. 排気ダクト（パイプ）は室外から水などが流れ込まないように勾配を取ってください。

8. 気密性の高い部屋では、レンジフードを作動させた際にドアなりやストーブの異常燃焼が起こる恐れがあります。そうでない部屋であっても給気には十分な配慮をしてください。

9. 取り付け後は、養生材をかぶせてください。内装工事で汚れる恐れがあります。



# 施工手順

## 1 付属品の確認

**付属品の確認をします。**

梱包箱から排気口、ネジなどの付属品を取り出し、「付属品一覧（P.2）」を参照の上、不足がないかご確認ください。

**⚠注意**

手袋をする **取扱いの際は、必ず手袋をすること。**
鋼板の切り口や角でケガをする恐れがあります。

## 2 排気方向の決定

**※ 製品寸法図を参照し、事前に管工事業者（法的有資格者）へ壁穴の開口を依頼してください。**

**⚠警告**

取扱注意 **排気工事をされる場合は、建築基準法（同施工令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事を行うこと。**
火災などの原因になります。

取扱注意 **メタルラス張り・ワイヤラス張り、また金属板張りの木造の造影物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス・ワイヤラス・金属板とが電気的に接触しないように取り付けること。**
漏電した場合、発火したり感電する恐れがあります。

取扱注意 **レンジフードと排気ダクトなどは、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと。**
火災などの原因になります。詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください。

**⚠注意**

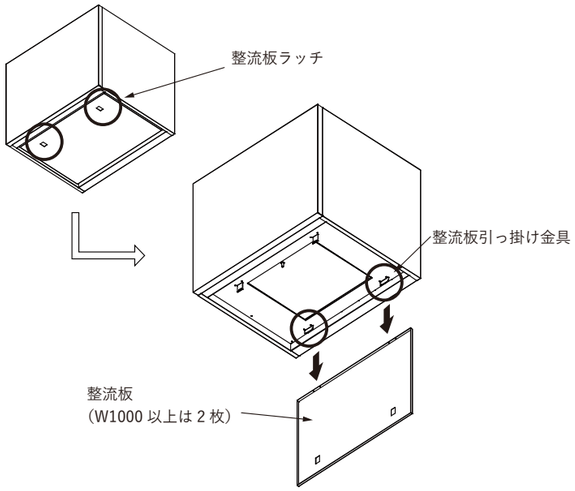
使用禁止 **浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと。（浴室換気扇をお使いください。）**
感電および故障の原因になります。

取付禁止 **周囲温度が 40°C以上になるところには取り付けないこと。**
火災・故障の原因になります。

## 3 各部をはずし、取り付け前の準備

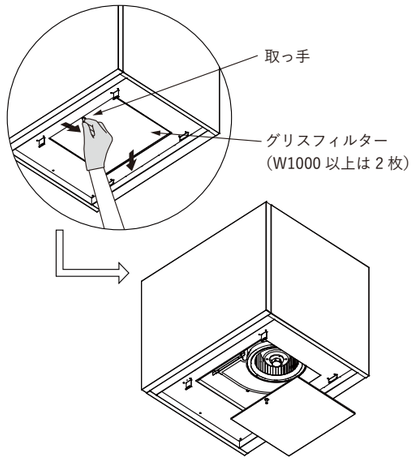
### 3-1 整流板をはずす

左右の整流板ラッチを解除し両手をそえたまま、整流板を少し下げ、奥の整流板引っ掛け金具から取り外します。




### 3-2 グリスフィルターをはずす

グリスフィルターの取っ手をつかみ、奥に押しながら、下に下げて取り外します。

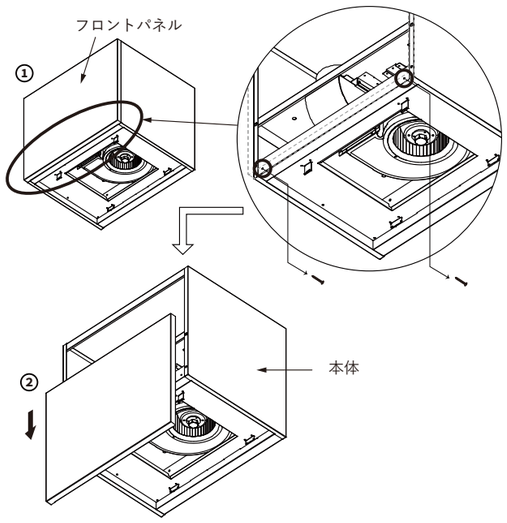



### 3-3 フロントパネルをはずす

① フロントパネルを取り付けている左右のねじを外してください。

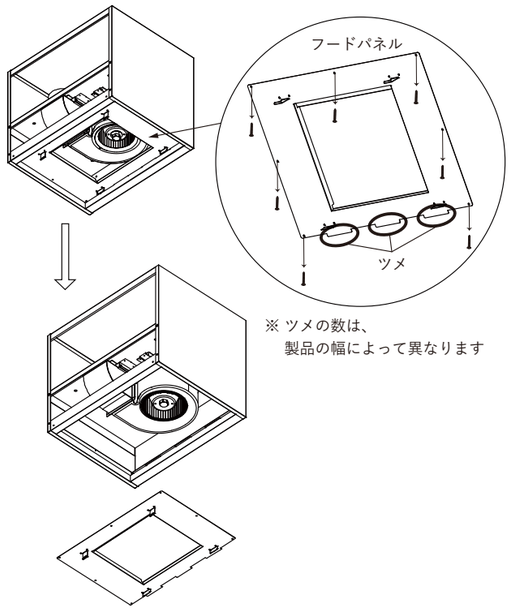
② フロントパネルを本体から少しずらして下側に下げて取り外します。

※アイランド型の場合、フロントパネルと同じ要領で、バックパネルも取り外してください。




### 3-4 フードパネルをはずす

フードパネルを取り付けているビス（7 本）を外してください。
フードパネルを下に下げながら手前にずらし、奥のツメを本体から引き抜き取り外します。



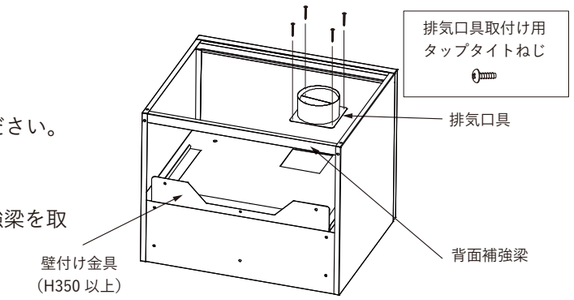



## 4 排気用部品の準備

### 上方排気の場合

① 排気口は本体上面に取付ねじ 4 本で取り付けてください。
取付方向に注意してください。

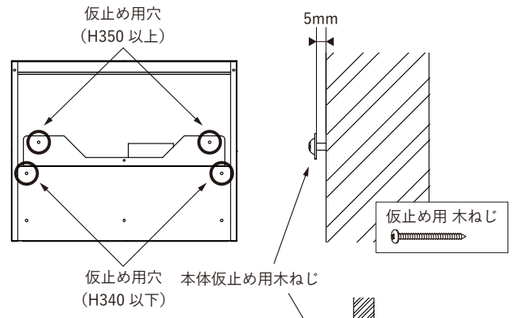
② 背面補強梁がダクト経路に干渉する場合、背面補強梁を取り外して設置してください。



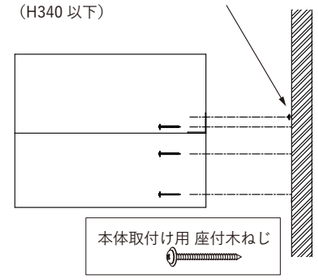

## 5 本体の取り付け

### 壁付け型の場合

① 本体仮止め用木ねじをねじ込みます。
製品寸法図の仮止め穴位置（左右各 1 箇所）に仮止め用の木ねじを壁面から 5 ㎜まで締め付けてください。




② 本体を取り付けます。
1. 本体の仮止め穴の木ねじに本体を引っ掛けます
2. 本体取付け用座付木ねじで 6 箇所を固定します。
3. 仮止め用のねじもしっかり締め付けてください。
4. 必要に応じてサイドパネル固定穴に木ねじにて固定しください。




### アイランド型の場合

① 吊りボルトを取り付けます。
レンジフードの天吊り用穴位置に合わせて、吊りボルトを垂らしてください。

**※吊りボルトは M10 を用いてください。**

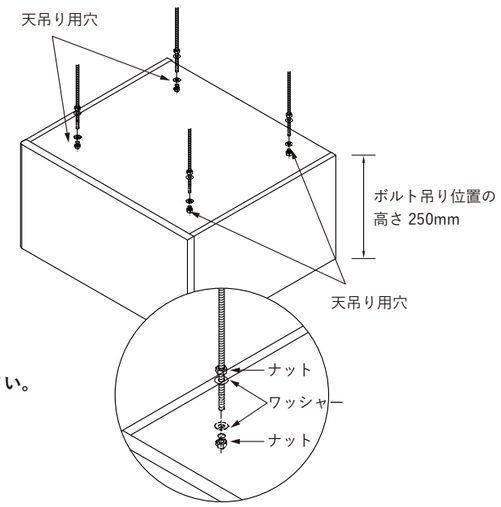
**※吊りボルトは製品を支える十分な強さを確保してください。必要となる強度は、建物の条件、耐震クラスなどにより異なります。**

② 本体を吊りボルトに固定します。
本体の上面の位置を決めて、上下でナット、ワッシャーで固定します。

**※吊りボルト、ナット、ワッシャーは同梱されていません。
現場でご用意ください。**

**※吊りボルトの長さは、本体の内部に 30mm 出る長さでご用意ください。**

**※本体高さにかかわらず、
ボルト吊り位置の高さは本体の側面から 250mm です。**

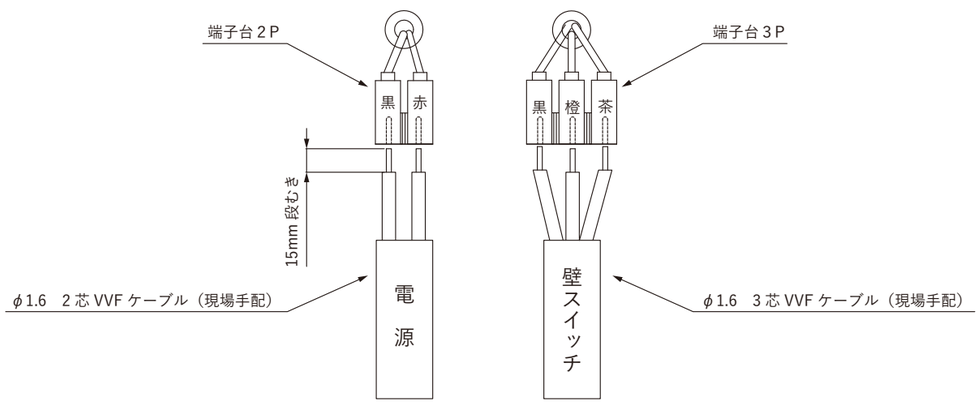



## 6 ダクトと排気用部品の接続

ダクトと本体の風漏れ防止のため、ソフトテープで隙間をふさいだ後、アルミテープでテーピング処理を行ってください。

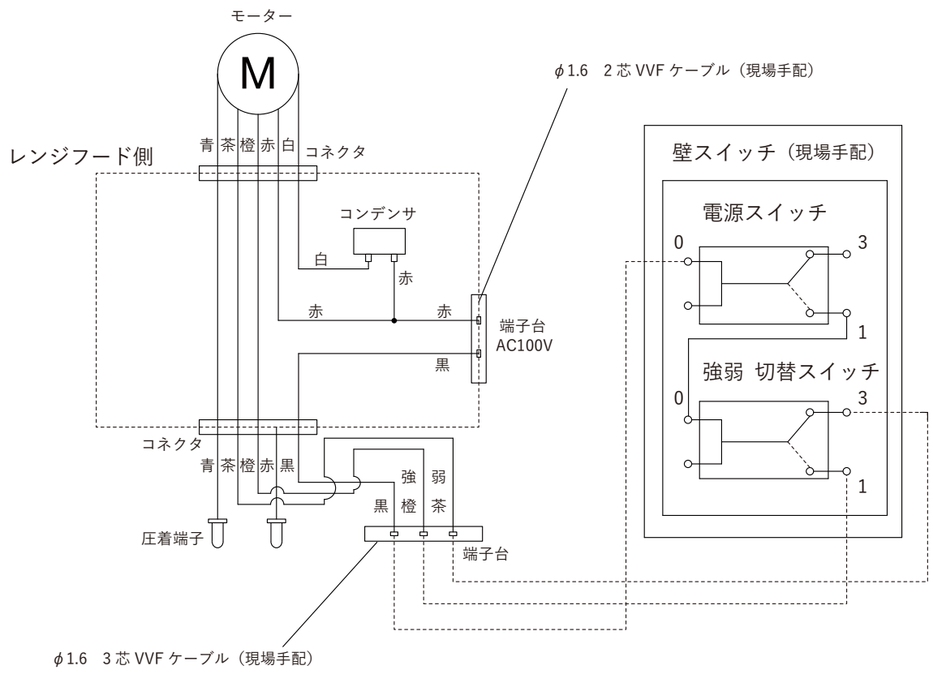
## 7 電源の接続

フード本体の端子台と壁スイッチの電気配線を行います。




| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | **段むき寸法は指示通りに行う。**<br>指示通りおこなわないと漏電の原因になります。 |

**参考結線図**






## 8 各部を取り付ける

### 8-1 フロントパネルを取り付ける

前面パネル上側のフックを掛けてください。手前のねじ (2 本 ) を穴位置に合わせて締め付けてください。

※アイランド型の場合、同様にバックパネルを取り付けてください。

### 8-2 フードパネルを取り付ける

フードパネルのツメを本体のスリット箇所に差し込み、ビス穴の位置を合わせて締め付けてください。

### 8-3 グリスフィルターを取り付ける

### 8-4 整流板を取り付ける

# 試運転

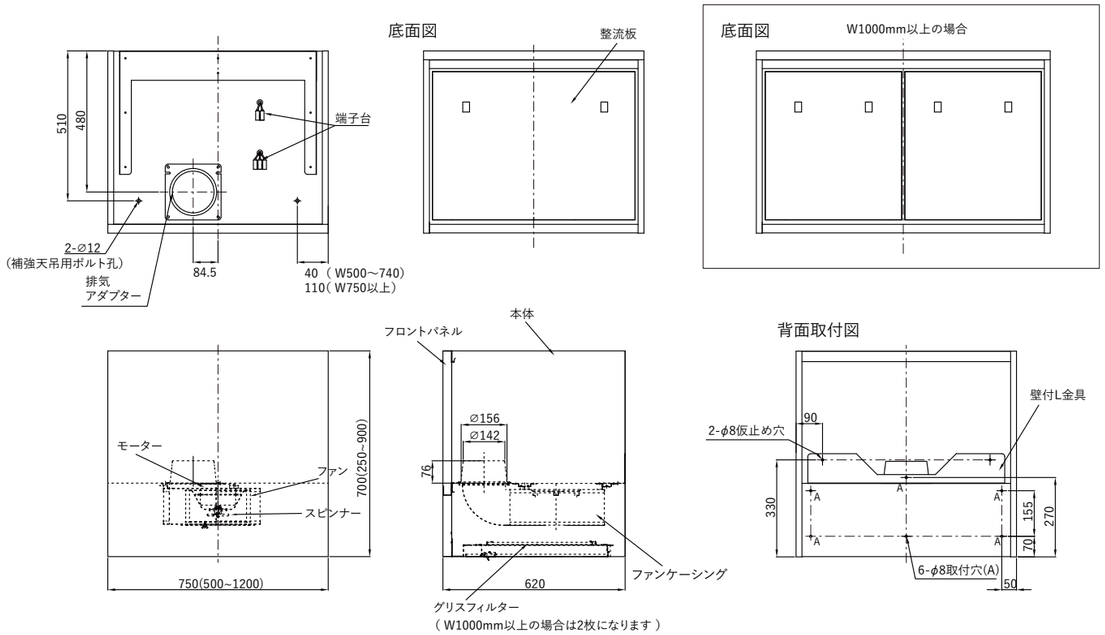
1. 本体の各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。
スイッチの操作、運転状態等については取扱説明書をご覧ください。
2. 運転時、各速調の排気が正しく行われていることを確認してください。
3. 屋外の排気出口から排気されていることを確認してください。
4. 取り付けまたは設置上に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので、十分確認してください。

# お客様への説明

1. 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
2. 取扱説明書と共に、この取付・設置説明書を必ずお客様へお渡しください。

# 製品寸法図

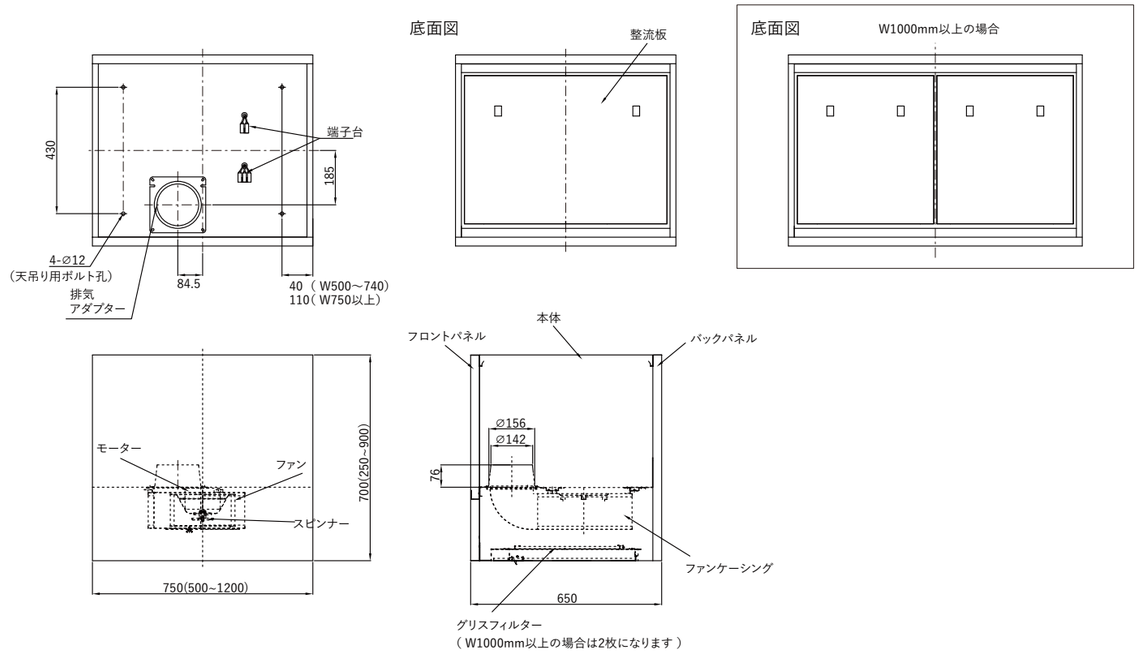
## 壁付け型の場合




※ 仕様は場合により変更することがあります



## アイランド型の場合




※ 仕様は場合により変更することがあります


製造元

**株式会社ハイスタイル**

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-3-4　大東ビル 203
TEL 03-3830-0713　FAX 03-3830-0714
www.hi-style.co.jp

発売元

**株式会社 TOOLBOX**

〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-14-16
contact@r-toolbox.jp
www.r-toolbox.jp